

このニュースは都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

あけましておめでとうございます

2021年の干支はウシ。
今号は干支にちなんでウシ科の
ニホンカモシカをご紹介します！



キョギョ
牛牛つと
カモシカ大特集！

ニホンカモシカ

偶蹄目ウシ科
体高 69 ~ 72 cm
体重 30 ~ 40 kg
角は約 15 cmの円錐型、黒色

【国の特別天然記念物です】

ニホンカモシカは、1934年に国の天然記念物に指定されましたが、戦後の肉や皮を目的とした密猟等によって個体数が減少し、1955年から特別天然記念物に変更されました。また、日本固有種（日本の国土以外では見ることのできない生き物）として知られています。

【どんな生活をしている？】

【生息地】

北海道と中国地方を除いた本州、四国、九州の山地から丘陵地に生息。岩場や傾斜地を好む。

【食べ物】

草本、低木の葉、小枝、花、果実など。

【繁殖】

秋に交尾して初夏に子どもを1頭出産。
子どもは1年間母親と一緒に生活する。

【特徴】

- ・縄張りを作る。目の下にある眼下腺から分泌物をだし、なわばりの境界付近の木の枝などに擦ってにおい付けするマーキングを行う。
- ・好奇心が強く、人間に会ってもジッとこちらを見て直ぐには逃げない。



【シカじゃないの？】

名前に「シカ」という言葉が入っていますが、どちらかというとうシやヤギに近い仲間。

大きなグループでいうと偶蹄目という同じグループに属しており、足の蹄の形や糞の形などよく似ている部分もありますが、体形や角の形は異なります。



←ニホンカモシカは雌雄とも角が生えている。角は生え変わらない。毛の色は変わらない。

↓ニホンジカはオスのみ角が生える。角は一年に一度生え変わる。夏毛、冬毛で色が変わる。



ニホンカモシカの頭骨 ※所有許可取得済み



後ろの丸い蹄（副蹄）は地面に接しないことが多く、足跡として残らないことが多い。

フィールドサインも似ています。蹄の形が似ているため、足跡もそっくりです。また、上あごに前歯がないことも一緒なので、食べ跡も似ています。糞の形や大きさもそっくりですが、シカが歩きながら排泄するのに対し、カモシカは腰をかがめてまとめて排泄するため、糞の塊（糞塊）ができます。300粒ほどの塊であればカモシカのものと言われています。

【都レンジャーはこのあたりで目撃しています】

- 1 大麥代
- 2 青梅丘陵
- 3 鋸山林道
- 4 川苔山
- 5 倉戸山
- 6 日ノ出山
- 7 八丁橋



カモシカに会ったら騒がずに静かに観察しましょう。ゆっくり草を食べる様子や崖を歩く様子を見ることが出来るかもしれません。